

## 令和元年度医療安全に関するワークショップ実施要領

### 1 目的

医療安全対策に関する知識等の修得、討議等を行うことにより、医療機関の安全管理者等の資質向上を図り、もって医療の安全性の向上を図ることを目的とする。

### 2 主催者

厚生労働省関東信越厚生局

### 3 開催時期、開催場所

【医療安全に関するワークショップ(セミナー)】

日時:令和元年12月2日(月) 10:20~17:10 (受付は9:50から開始します。)

場所:埼玉県さいたま市浦和区高砂3-1-4 埼玉会館1階大ホール

### 4 内容等

別添プログラム参照

### 5 対象者

- (1)関東信越厚生局管内の医療機関(特定機能病院を含む。)において、医療安全管理体制の中心的役割を担う管理者(医療機関における管理者)若しくは医療安全管理者(医療機関全体の安全管理を担当する実務者。専任、兼任は問わない。)
- (2)(1)以外で関東信越厚生局管内の医療機関に勤務する者で、受講を希望する者
- (3)関東信越厚生局管内の各都県、保健所設置市区において医療安全に関わっている者も対象とするが、募集人数を超える場合は、医療機関の従事者の受講を優先する。

### 6 募集人数

【12月2日(セミナー)】 1,000名程度

### 7 受講の申込み及び決定

- (1)セミナーの受講希望者は、申込み期間に関東信越厚生局ホームページから申込みください。

申込みをもって受講を決定とし、事前申込みされた方のみ受講できます。

申込み期間

令和元年8月15日(木)からとなります。

先着順で、定員に達した時点で募集を締め切らせていただきます。

※インターネットの環境がないなどの理由でホームページからの申込みができない場合は関東信越厚生局健康福祉部医事課までご連絡ください。

### 8 受講証書

受講証書の発行は、1日全て受講された方を対象といたします。

※同ワークショップは、診療報酬にかかる医療安全対策加算の施設基準にある「医療安全対策に係る適切な研修」の一部に含まれます。

※昨年度のような講義毎に分けての受講証書は発行いたしません。

※受講証書発行に必要な受講証書発行依頼書の受付は当日限りとなります(受講証書発行依頼書は当日会場にて配布いたします。)

### 9 経費

ワークショップ開催に要する経費は、原則、主催者側の負担とするが、受講者の旅費、食費、宿泊費等の経費は、受講者の負担とする。

## 令和元年度 医療安全に関するワークショッププログラム(セミナー)

【日時】 令和元年12月2日(月)

【会場】 埼玉会館1階大ホール(埼玉県さいたま市浦和区高砂3-1-4:JR浦和駅)

時間	プログラム	講師
9:50~10:20	受付	
10:20~10:25	オリエンテーション	
10:25~10:30	開会(挨拶)	
10:30~11:20 (50分)	講演1 「医療安全政策の動向」	厚生労働省
11:20~12:10 (50分)	講演2 「ヒューマンファクターの基礎知識」 (ヒューマンエラー防止と現場力向上の考え方と方法)	早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 経営システム工学科 人間生活工学研究室 教授 小松原 明哲 先生
12:10~13:10	休憩	60分
13:10~14:00 (50分)	講演3 「医療安全活動の取組」 (報告文化の醸成と実践)	自治医科大学附属さいたま医療 センター 副センター長 医療安全・渉外対策部 教授 遠山 信幸 先生
14:00~14:50 (50分)	講演4 「医薬品の安全管理 (繰り返される事故から学ぶ)」 (看護師の医薬品関連事故にもっと関心を持ちましょう)	社会医療法人 生長会 ベルランド総合病院 クオリティ管理センター 部長 楠本 茂雅 先生
14:50~15:20	休憩	30分
15:20~16:10 (50分)	講演5 「インフォームドコンセント、 診療録記載について」 (既存の説明同意書の記載や説明のプロセスを見直す 際のチェックポイント)	岡部真勝法律事務所 弁護士 岡部 真勝 先生
16:10~17:00 (50分)	講演6 「検査結果の見落とし・見逃し対策」 (システムとしての対策と患者参加の重要性)	自治医科大学附属病院 医療の質向上・安全推進センター センター長 教授 新保 昌久 先生
17:00~17:10	閉会	

合計講義時間 5時間